



▲いっしょに活動してきた3年生9人がステージへ。



▲調べた成果を元気に発表しました。

知れば知るほど、白岩川が好きになる。

立山町立 日中上野小学校

学校長：野中 靖子先生

指導教諭：小杉 友美先生

発表児童：3年 9名



調べてみよう!白岩川

学校から歩いて10分ほどの所を流れる白岩川。そこで3年生9名は、4月から活動し、調べています。川にはいろいろな生き物があることが分かり、どんな生き物がすんでいるか調べました。そして、それらの生き物が、川の流れの速さや、水のごれなどに関係するのではないかと予想し、そのことについても調べています。

また、昔、白岩川にはどんな生き物がいたのか、アンケートをとって調べました。この4つのことについて発表します。



小杉友美先生より

川での学習を通し、たくましく変身し、自然を大切にしようと思った子供たち

4月、川の中へ入るのが怖かったり、長くつの中に水が入るのを嫌がったりした子供もいました。けれども、今では自分より背の高い草をかき分けて川へ入り、全身ずぶぬれになっても平気。たくさんの生き物を見つけて大喜びしたり、流れの速さを真剣に測ったり、水のごれを調べたりしました。また昔はどんな生き物がいたのかを知るために、校区にアンケートを配りました。自分達で考え判断し行動できるようになってきた3年生。とてもたくましく、かがやいて見えます。

今まで何気なく橋の上を車で通り過ぎるだけだった白岩川。そこにはたくさんの命が育まれていることを知り、ずっと守っていきたいという心が芽生えました。その心がずっと続きますように！





▲はじめは、おっかなびっくりで調査をスタート。



▲石の下などに生き物がいっぱいいました。



▲水や生き物とふれるのが、どんどん楽しくなりました。



▲教室で育てていたサワガニが卵を生んだときは、みんなびっくり！



▲お願いします！川にゴミを捨てないで。

考えたこと・感じたこと

**生き物がたくさんいて、楽しい川、白岩川。
未来は、世界一きれいな川になってほしいよ。**

白岩川へ行くのは、本当に楽しかったです。特に生き物をつかまえるのが楽しかったです。4月から調べてきたけど、まだまだ調べ足りないと思っています。二学期は台風で川がにごって流れが速くなったり熊がでたりしてあまり活動できなかったからです。調べていくうちに白岩川は、いろいろな生き物がすむとてもいい川だということが分かりました。でも昔はもっとたくさんいたことも知りました。白岩川のゴミがへったらきっとまた昔のようにたくさんの生き物がすむ川になると思います。

未来の白岩川は、ゴミがなく、生き物がたくさんいて子供たちが楽しく遊べる世界一きれいな川になってほしいです。

学習テーマの設定

もっと知りたい白岩川

学校から歩いて行ける白岩川。そこにすむいろいろな生き物や、生き物たちと川の関係について、総合的な学習の時間を利用して調べました。



立山町から上市町、富山市を通して、富山湾へそく白岩川。自分たちが住む立山町では、どんな生き物に出会えるかな？

学習の展開

まず生き物を調べました

見つけた生き物について調べ、自分たちで図鑑も作りました。いろいろなことがわかり、川の流れの速さとの関係があるのか、疑問も生まれました。



流れの速さと生き物の関係
ピンポン玉を使い、川の流れの速さを測りました。流れが速い本流には生き物は少なく、池のように水が流れていないところには小魚がいっぱい！

水のごれをチェック

一学期にはきれいだった水が、秋にはにごっていました。台風や雨のせい？微生物のせい？ペットボトルを使って調べても、まだわからないことがあるので、これからも調べたいな…。



昔の白岩川をさぐる
ドキドキしながら、知らない人にもアンケートをお願いして、昔の白岩川の方が、たくさん生き物がいたとわかりました。生き物たちを守るにはどうしたらいいんだろう？

自然にゴミを捨てないで

白岩川の生き物がへったのは、人がゴミを捨て、川をよごすからではないかと予想して、ゴミ拾いもしました。もう自然にゴミを捨てないでほしい！

